総合問題

解答の指針

問1． 課題文中の下線部①「AIが生み出したコンテンツに対する現在のわれわれの価値観に関しては，生成AIブーム以前と以降に出た2種類の興味深い研究があります」という文章で説明された「2種類の興味深い研究」の結果から「われわれの価値観」のどのような特徴を読み取れるか，100字以内で説明する問題である。

まず，「2種類の興味深い研究」をしっかりとおさえる必要がある。1つ目の研究が下線部①の次の段落にある2019年の研究である。この研究は，その次の段落にあるように，私たち人間が，感情や共感を伴う仕事をAIには任せたくないという傾向にあることや，さらに次の段落にあるように，AIによる創作に関して相当に否定的であることを指摘している。2つ目の研究が最終から4番目の段落にある2023年の研究である。この研究は，人間とAIそれぞれが制作したとする画像を見比べさせて，好みなどを評価させると，すべての項目で人間が制作したほうを高く評価した（最終段落）ことを明らかにした。しかし，実はすべてAIで生成した画像であるというトリックを仕掛けていて，私たち人間が，作品（画像）自体の性質などは関係なく評価していること（最終から2番目の段落）を指摘している。

2つの研究から，「われわれ（＝人間）の価値観」は，AIの創作をそもそも否定的に見ているがゆえに，AIが創作しているというだけで低い評価にしてしまっているのではないかというのが，筆者の見方である。この点を説明すると「われわれの価値観」の特徴をうまくまとめることができるであろう。

問2． 問1の解答を踏まえつつ，下線部②「長期的なわれわれの価値観」

© Sekaishisosha-Kyogakusha Co., Ltd.
無断複製・転載を禁じます。

とあるが，今後の AI の発展は「われわれの価値観」にどのような影響をもたらすと考えるか，700 字以内で具体的に説明する問題である。

まず，設問では「長期的なわれわれの価値観」を前提としているので，現代社会のみならず未来社会を見据える必要があろう。これからは社会の複雑化によってメンタルヘルスに関する問題がさらに多くなっていくであろうし，超少子高齢社会の進行もますます加速していくであろう。超少子高齢化の進行は，人手不足を深刻化させて今現在でも人間の力だけでまかなうことができなくなっているにもかかわらず，図 1，図 2 が示すように，「感情的なサポート」や「高齢者介護」などは AI には任せたくないというデータが示されている。これらは，より多くの人手が必要となる領域であることは間違いなく，AI の力に頼らなければ未来社会は成り立たない状況が明らかである。しかしながら，課題文にある 2 つの研究は，人間が AI を否定的に見ているがために AI を受け入れがたい存在としていることを示している。

以上のような社会的な現実や状況を踏まえて，「われわれの価値観」にどのような影響をもたらすかの自らの考えを述べることになる。設問にあるように，今後の AI は衰退するのではなく発展し続けるものであり，2023 年の研究は，私たち人間が，人間と AI の作品を見比べることが容易にできないほどになっていることを示した。つまり，限りなく AI が人間に近づいている，同等になっていることが明らかである。さらに AI が発展して，私たちの生活により便利さを提供する AI が増えれば，否定的な価値観から肯定的な見方・考え方に移す必要があるという論調が書きやすいであろう。なぜなら，そうしていかなければ未来社会は成り立たない可能性が高いからである。未来社会の諸課題は，ますます大きくなることが確実であるがゆえ，AI を今まで以上に否定的に見るべきという論調は，本問ではしにくいであろう。価値観を否定的なものからどのように肯定的に見ていく（受け入れていく）べきかを自らの考えとして述べて，うまくまとめるとよいだろう。あえて，AI を否定的に見ていくのであれば，AI 活用のデメリットを厳しく突いていこう。

本問は AI を主人公としているが，現代社会や未来社会における大きな課題（少子高齢化問題など）を追究，探究するべき設定になっている。受験生が，現代社会の諸課題をどのようにとらえて，どのように解決に導い

© Sekaishisosha-Kyogakusha Co., Ltd.
無断複製・転載を禁じます。

ていこうとするのかという資質や能力が試されている問いである。日頃から現代社会に興味・関心を持ち，課題と向き合う姿勢や態度が求められている。

© Sekaishisosha-Kyogakusha Co., Ltd.
無断複製・転載を禁じます。